

1 中学校での進路指導・高校等選択において大切にしていること

- (1) 生徒が主体的に判断し、自分を伸ばすことの出来る進路選択
- (2) 自己決定能力を高める3年間の進路学習
- (3) 自分の生き方に向き合い深める指導
- (4) 生徒の自己理解（適性・見通し）を深める
- (5) 将来の目標を持つ、自分を理解する、学力をつける、必要な情報を提供する、意思決定
- (6) 生き方指導（そこで何を学ぶか）
- (7) 社会での自立、社会貢献・地域貢献への意識を高める
- (8) 生徒保護者の希望ともっとも合致している進学先か否か、助言指導
- (9) 入れる・入れないではなく、自分に適した進路を自身が選択する

2 課題

- (1) 競争意識の欠如
- (2) 選択肢のなさ
- (3) 遠距離通学の負担
- (4) 推薦入試、定員割れの中での推薦枠の大きさ
- (5) 高校からの情報（進学先や就職実績・部活動等の情報は多いが、特色ある教育課程について少ない）
- (6) 県外生徒枠の設定

3 その他

- (1) 進路に係る条件設定